

講座名	【必修】教育の最新事情				
開講日	平成 28 年 8 月 3 日（予備日 8 月 4 日）				
時間数	6 時間	講座の形態	講義		
受講予定者数	100 名	主な受講対象	全教員		
講座の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校を巡る近年の状況変化について理解し、教員に何が期待されているか理解する。 ・ 子供の発達に関する科学的知見を理解し、指導のあり方を考察する。 ・ 最近の教育改革の動向について理解する。 ・ 危機管理など、様々な問題を理解し、指導上の必要課題について考察する。 				
講座の概要	<p>教育ということの意味、使命、役割、生徒理解、最近の教育改革の動向と教育課程、学校内外の連携・協力、という各テーマについて、教育学的、心理学的、社会的観点から考察する。とりわけ、本講義においては、校種、学校レベルなどにより、固定化されつつあると思われる、教員の教育観、児童、生徒観の考察を中心とする。</p>				
講座の計画	8月3日	1 時限	項目	細目	内容
			教員としての子ども観、教育観等について省察	子供観、教育観等についての省察	スマホ、パソコンなどの急速な普及により、児童・生徒を取り巻く「環境」には大きな変化が見られる。では、私共教師は表面的には変わったといわれる児童・生徒をどうとらえ、どう対応すればいいのだろうか。教師としての望ましい子供観、教育観を考察する。
		教育的愛情、倫理観、遵法精神その他教員に対する社会的要請の強い事柄		最近、全国的に教師の不幸事は後を絶たない。教師は質的に低下しているのだろうか。そこで、もう一度基本にかえって、教育者としての望ましい倫理観、教育的愛情について考察する。	
		2 時限	国の教育施策や世界の教育の動向	客観的・具体的材料（各種報道・世論調査・統計等）の適切な利用	教育改革をめぐる各種答申の系譜や最近の論調を読み取りながら、わが国の公教育をめぐる論点と、学校の役割、教職の固有な意義について考察する。
			世界の教育の動向	学力の質的向上、子どもの貧困問題、そして若者の将来展望など、焦眉の課題にかかわる諸外国の動向から見えてくる教育の問題を考察する。	

講座の計画	8月3日	3・4時限	子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見（特別支援教育に関するものを含む）。	子どもの発達に関する、脳科学、心理学等の最新知見に基づく内容	発達障害に関する話題を中心として、子どもの発達に関する脳科学、心理学等の最新知見のトピックスを紹介する。
				特別支援教育に関する新たな課題（LD、ADHD等）	特別支援教育に関する新たな課題（自閉症スペクトラム、学習障害、AD/HD等）について理解を深めるとともに、児童・生徒との適切な関わり方や、特性に応じた指導法を学ぶ。
			子どもの生活の変化を踏まえた課題	その他の課題	親子関係の変化（虐待や不適切な養育を含む）について理解を深めるとともに、心の傷付きからの回復過程と心理教育について学ぶ。
				カウンセリングマインドの必要性	学校でのさまざまな問題を抱えた児童・生徒および保護者と関わる際に必要なカウンセリングマインドの基本を学ぶ。
			試験（60分）		
修了確認の方法	筆記試験の評価による				
成績評価の視点	講義内容を自分の文章でまとめているか				
備考	1時限は90分 テキストは使用しない。資料は適宜配布する。				
担当者	8月3日1時限担当：川口 雅昭（人間環境大学 人間環境学部 教授） 8月3日2時限担当：折出 健二（人間環境大学 看護学部 教授） 8月3日3・4時限担当：坪井 裕子（人間環境大学 人間環境学部 教授）				